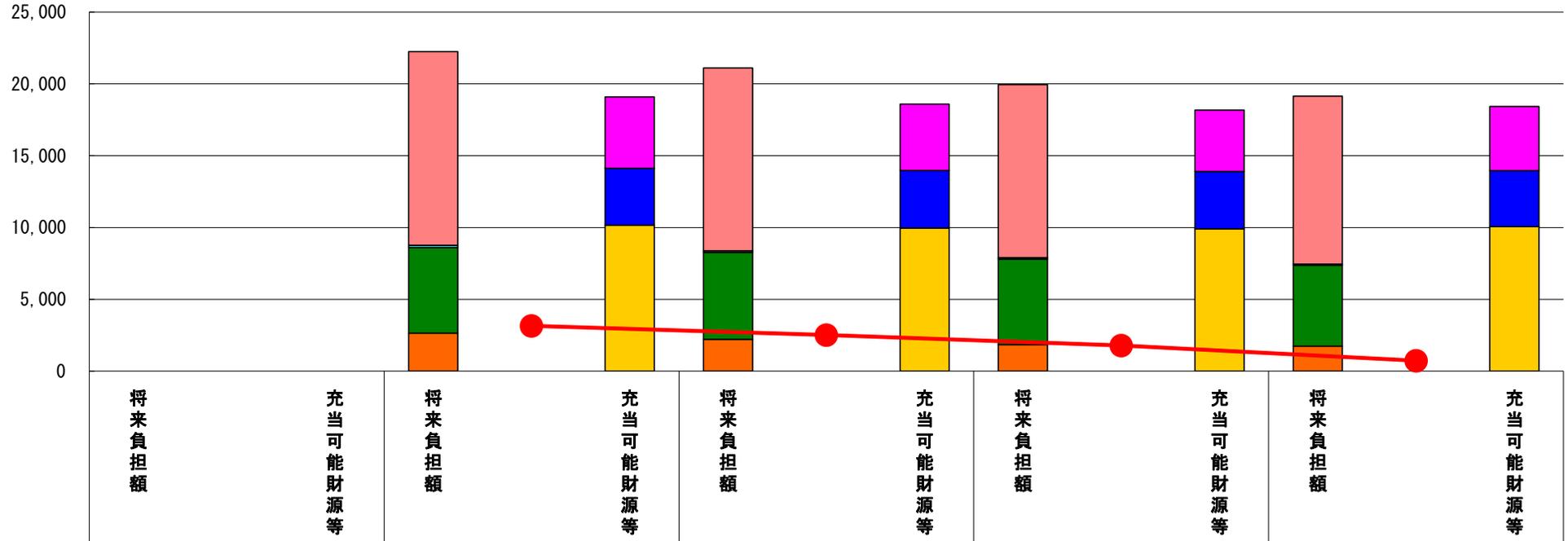


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

大阪府島本町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	13,486	12,727	12,058	11,703	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	146	113	92	70	
	公営企業債等繰入見込額	-	5,971	6,050	5,958	5,638	
	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-	
	退職手当負担見込額	-	2,639	2,217	1,843	1,735	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	1	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	4,971	4,624	4,269	4,461	
	充当可能特定歳入	-	3,957	4,006	4,000	3,900	
	基準財政需要額算入見込額	-	10,163	9,961	9,906	10,060	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	3,151	2,516	1,775	725	

分析欄

前年度に比べ21.1ポイント改善し13.9%となった。これは、標準税収入額等は減額となったものの、普通交付税額及び臨時財政対策債発行可能額が増となったことにより、分母である標準財政規模が144百万円の増となったこと、並びに、平成22年度地方債の発行が臨時財政対策債及び交通バリアフリー事業債のみであったこと、公共下水道事業において公的資金補償金免除繰上償還を実施したこと、及び勤続年数の長い職員の減少により退職手当負担見込額が減となったこと等により、分子である将来負担額が803百万円の減となったため、比率が大幅に改善したものである。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。